

1. 建物概要

建物名称	〈仮称〉アパホテル〈静岡駅前〉	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----	----

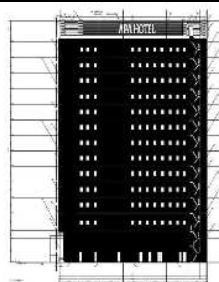
2. 重点項目への取組み度

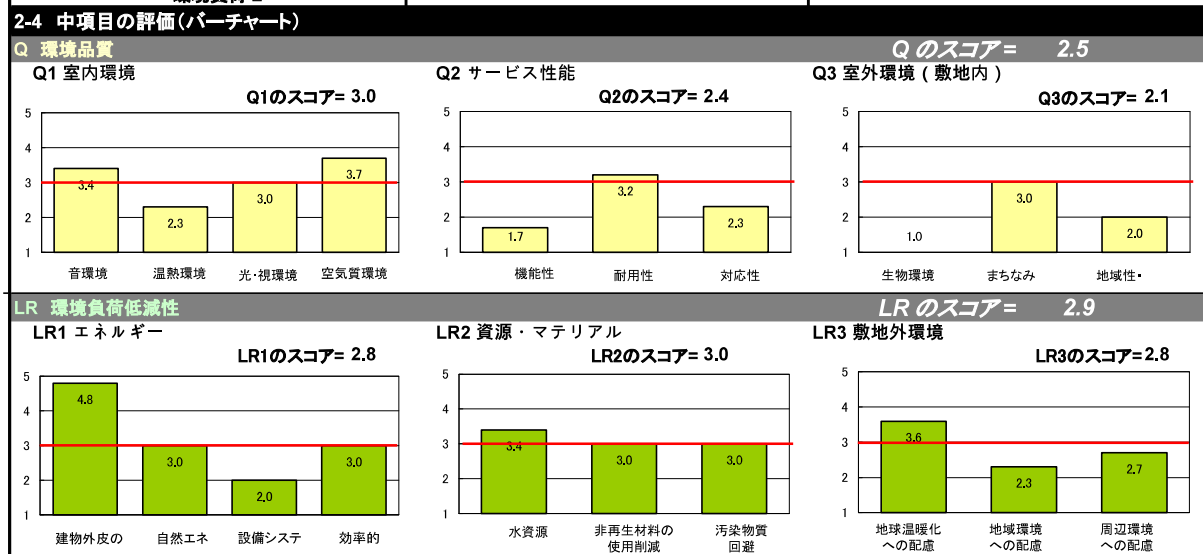
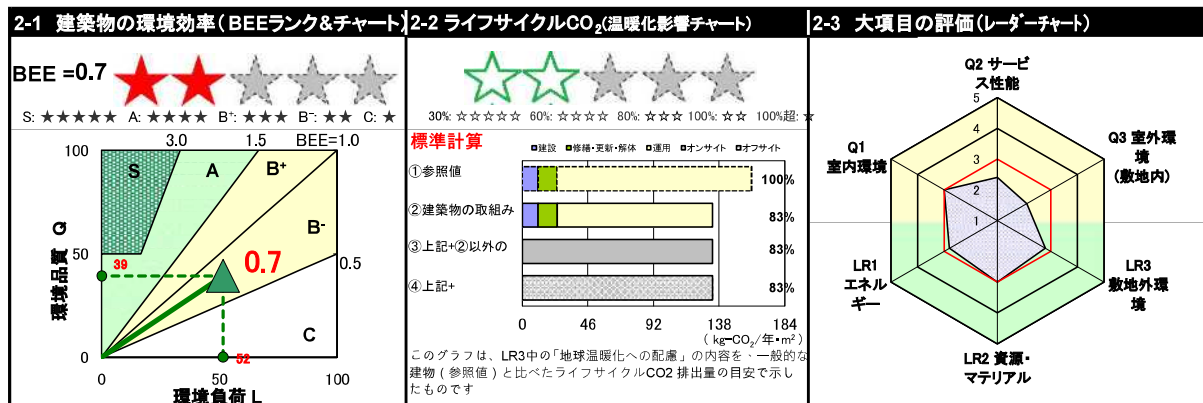
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.9	/5	     がんばろう 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.2	/5	     ふつう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.0	/5	     がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.1	/5	     がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上  ふつう 3 点以上  がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)	得点	2.9
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①窓システムSC:0.20、U=2.88(W/m ² K)、外壁その他:U=0.83(W/m ² K)。 ④タイル貼→40年。 給水SUS(C)、給湯SUS(C)、通気管VP(A)。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI=0.82。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫床:エルワイタイル・断熱材:ポリスチレンフォーム。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO ₂ 排出率83%。	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)	得点	3.2
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰節水型器具を採用している。 ⑰耐震クラスA。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)	得点	2.0
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)	得点	2.1
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1 2 3 3.2	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ・景観への配慮 ㉒ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉓持続可能な森林から産出された木材/㉔温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	㉓ 持続可能な森林から産出された木材 ㉔ 温熱環境悪化の改善

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アパホテル(静岡駅前)	階数	地上13F
建設地	静岡県静岡市葵区栄町1-5・6・7・14・18・19・20・21	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	600 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2023年3月12日
敷地面積	1,207 ㎡	作成者	野々田 弥
建築面積	792 ㎡	確認日	
延床面積	6,655 ㎡	確認者	





3 設計上の配慮事項		
総合		その他
CASBEE 静岡 2021 年版による評価結果。 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
開口部遮音性能:T-2以上。 Lr-40。 窓システムSC: 0.20、U=2.88(W/m ² K)、外壁その他: U=0.83(W/m ² K)。	タイル貼→40年。 ガルバリウムダクトを使用している。 節水型器具を採用している。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPlm=0.82。	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 床: エルワイタイル・断熱材: ポリスチレンフォーム。	ライフサイクルCO ₂ 排出率83%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される